

飼料用稲麦二毛作の春作業の競合を回避できる 「麦立毛間V溝水稻播種法」

目的と特徴

- ・麦立毛間飼料用イネV溝直播栽培は、飼料用コムギの栽培中（立毛間）に、その条間へ不耕起V溝播種機を用いて飼料用イネを播種する栽培法です。
- ・この体系では飼料用イネの播種時期が2月中旬から3月上旬の農閑期となり、慣行の二毛作体系で問題となる作業競合を回避できます。
- ・作業競合によって飼料用イネの移植時期が遅くなり、6月下旬以降になった場合よりも多収となります。

飼料用コムギの栽培中（立毛間）に作溝して、飼料用イネの種子と肥料を落とします

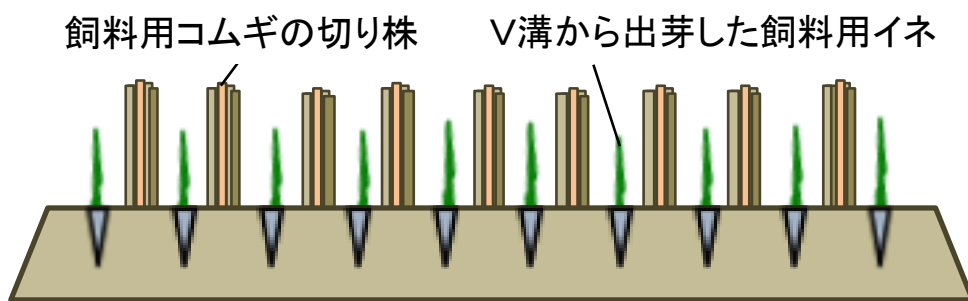


飼料用稲麦二毛作体系における

麦立毛間V溝水稻播種法（V溝直播）とは、

- ・不耕起V溝播種機を用いて、飼料用コムギの栽培中にV溝の播種溝を作り、この溝の中に飼料用イネの種子と肥料を落としていく栽培法です。

飼料用イネが出芽した状態で、飼料用コムギを収穫します



成果

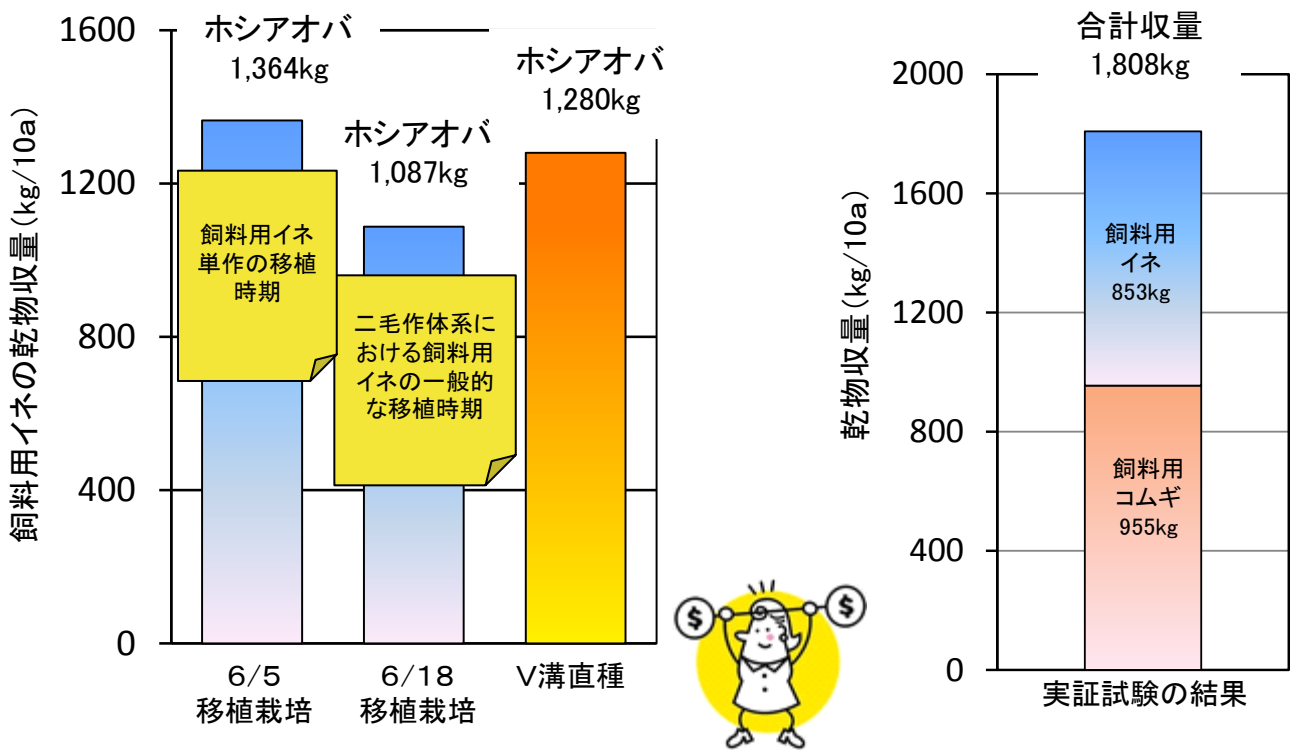
- ・移植作業の遅れを回避でき、経営全体では飼料用イネの収量増加が期待できます。
- ・コムギWCSとイネWCSの合計乾物収量で、1,800kg/10aを達成しました。
- ・飼料用イネの品種としては、苗立ちが優れて多収な品種が適しています。

飼料用稲麦二毛作における春季の作業競合を回避

草種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
飼料用イネ (立毛間播種)		○ ○							✕ ✕	✕		
飼料用コムギ					✕ ✕						○ ○	

・飼料用イネをV溝直播で栽培することにより、飼料用稲麦二毛作体系における飼料用コムギの収穫と飼料用イネの播種・育苗・移植の作業競合を回避

- ・V溝直播による飼料用イネは、6月下旬以降の移植栽培よりも多収 !!
- ・飼料用稲麦二毛作で、年間乾物実収量で1.8t/10a以上を確保



対象作物、普及対象

- ・飼料用イネ、飼料用コムギ、関東以南

対象農家

- ・飼料用イネと飼料用コムギの二毛作を大規模に行う経営

必要な道具

- ・不耕起V溝播種機、飼料用イネ専用収穫機

その他

- ・湿潤地帯においては大麦より、やや湿害に強い小麦を飼料用として利用して下さい。
- ・V溝直播の導入には、極端な漏水田は避け、麦の茎立前に播種する必要があります。
- ・飼料用麦類には除草剤が使用できないため、食用作物との輪作等の耕種的防除に努めること。